

1 - 3 福祉・医療

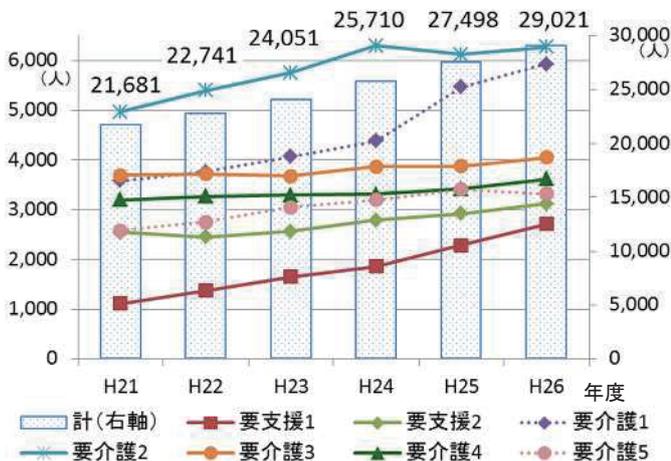
⑤ 高齢者の生活と福祉

～要介護認定者が増加し、経費も増加～

- 区の高齢化率は21.2%（平成26年9月現在）で、全国的な値である約26%（推計値）と比べ低くなっています。
- 要介護認定者数は上昇を続け、平成26年3月現在の要介護認定者数は29,021人（要介護者23,185人、要支援者5,836人）となり、介護保険サービス経費も増加しています。
- 介護が必要になった場合に希望する生活場所としては、自宅を希望する人が半数を超えています。高齢者単身世帯が4万世帯を超えていること（7ページ参照）や、家族と1時間以上離れた場所に暮らす人が4分の1程度いる状況を踏まえると、施設整備や介護サービス、地域での見守り体制の拡充の必要性が高まっていくことが想定されます。特別養護老人ホームなどの介護施設への入居希望者は約15%となっています。平成26年3月現在の特別養護老人ホームの床数は1,814床、65歳以上の高齢者人口に対する整備率は1.22%となっています。
- 一般の高齢者は、買い物や散歩で外出する頻度が多くなっていますが、要介護認定者は、ほぼ毎日外出する人が1割程度に留まっています。また、一般の高齢者の地域活動への参加状況をみると、趣味関係の活動を行っている人は2割弱、スポーツ関連が1割程度で、活動していない人が6割近くにのぼっています。
- 高齢者相談センター等での高齢者サービスに関わる相談は、多様化しています。

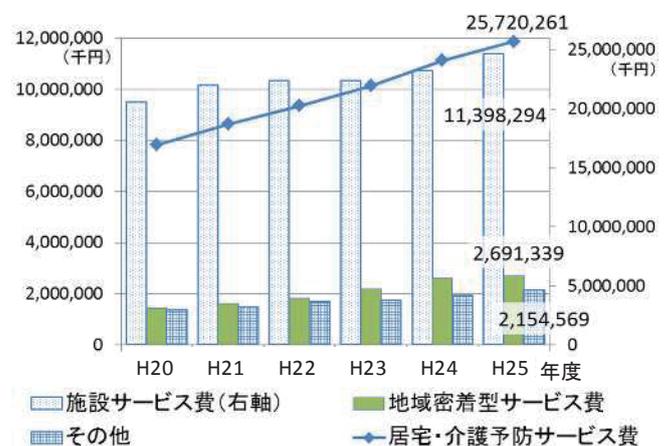
要介護認定者数が増加を続けており、今後も高齢化が進行していくことを考慮すると、身体の状態にあわせた適度な運動等を行ったり、地域活動に参加したりする機会を増やすなど、健康寿命の延伸につながる取組や、在宅生活を支える各種のサービスの充実など住み慣れた地域で暮らせる仕組みづくりが求められます。

要介護認定者数の状況（各年3月31日現在）



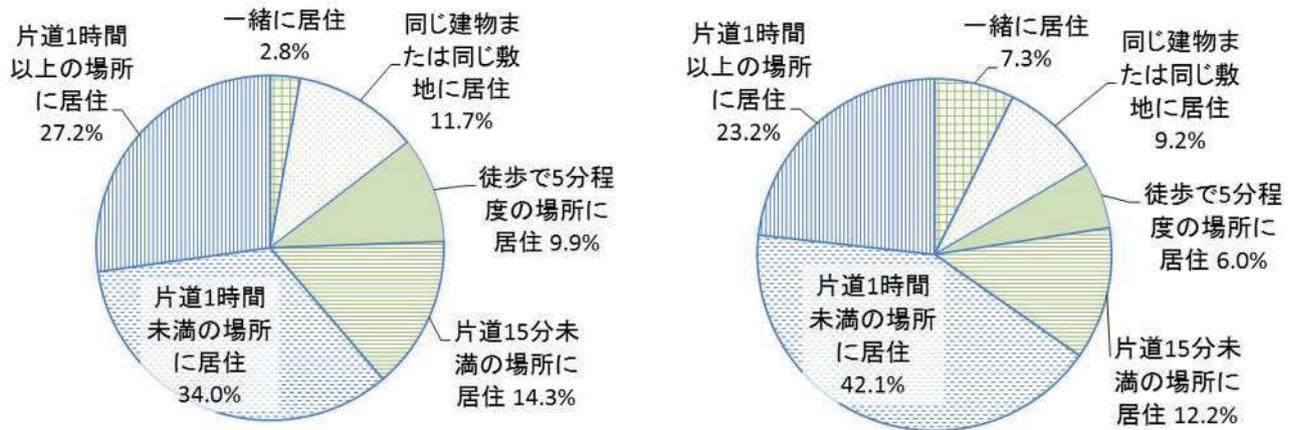
【出典】練馬区「練馬の介護保険（平成26年11月）」

介護保険サービス経費の推移



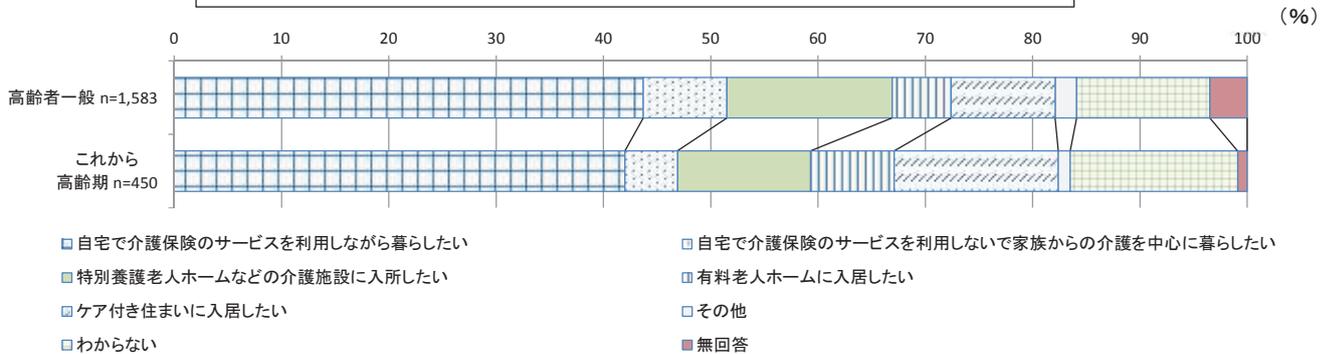
【出典】練馬区「練馬の介護保険（平成26年11月）」

子どもの居住地との距離（左側：高齢者単身世帯、右側：高齢者夫婦世帯）



〔出典〕練馬区「練馬区統計書（平成25年版）」

介護が必要になった場合の生活場所の希望



※「これから高齢期」
介護保険の認定を受けていない
55～64歳の区民

〔出典〕練馬区「練馬区高齢者基礎調査報告書（平成26年3月）」

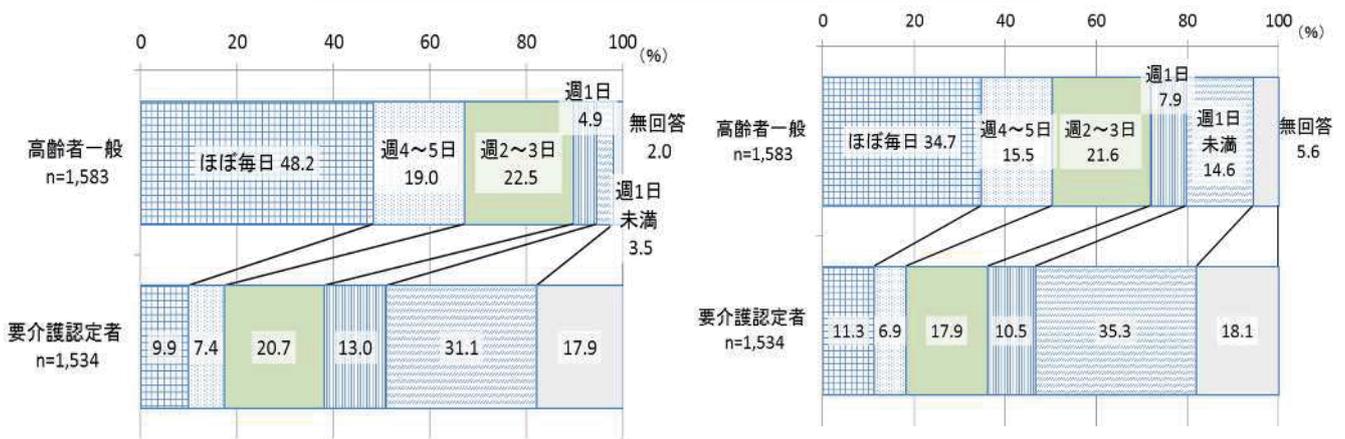
特別養護老人ホームの床数および整備率※



※ 整備率は、65歳以上の高齢者人口（1月1日現在）に対する特養整備床数（年度末現在竣工分）の割合

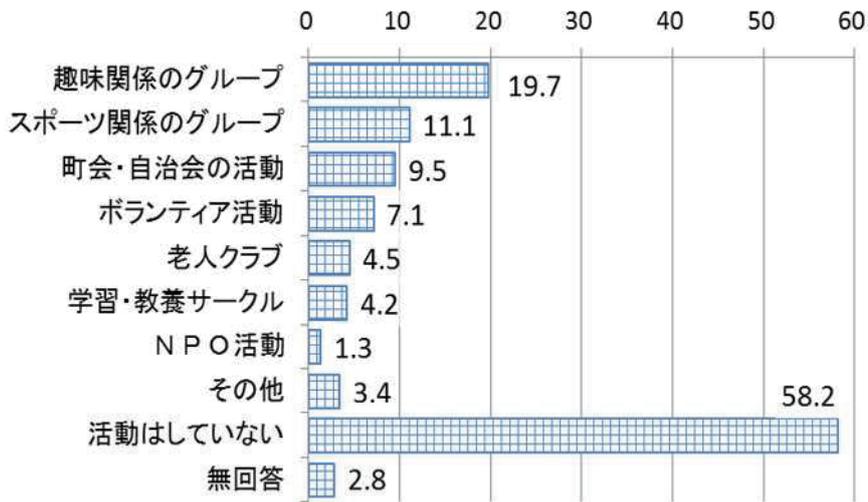
〔出典〕練馬区福祉部資料

外出する頻度（左側：買物、右側：散歩）



〔出典〕練馬区「練馬区高齢者基礎調査報告書（平成26年3月）」

高齢者（要介護認定者を除く）の地域活動への参加状況

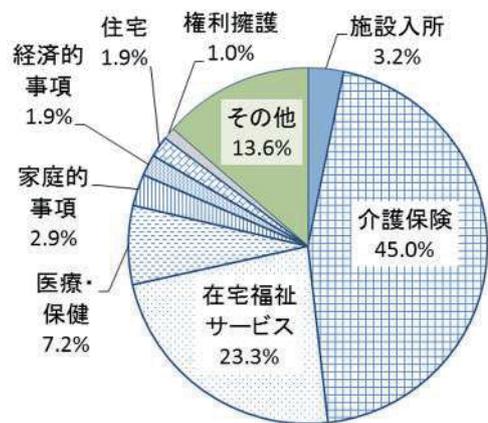


〔出典〕練馬区「練馬区高齢者基礎調査報告書（平成26年3月）」

高齢者サービスに関わる相談件数

平成24年度(件)

種別	練馬	光が丘	石神井	大泉	小計
施設入所	1,570	1,214	466	1,190	4,440
在宅福祉サービス	7,868	7,664	10,732	6,008	32,272
経済的事項	680	751	619	609	2,659
家庭的事項	539	1,071	1,200	1,170	3,980
医療・保健	1,167	2,099	3,249	3,432	9,947
住宅	549	408	1,188	472	2,617
介護保険	12,334	12,397	23,713	13,880	62,324
権利擁護	407	85	421	525	1,438
その他	3,325	3,527	8,993	2,945	18,790
小計	28,439	29,216	50,581	30,231	138,467
計					138,467



〔出典〕練馬区「練馬区勢概要（平成25年版）」